※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共　（東京法令出版）						
副教材等	担当者作成授業プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の諸課題を、自分自身のこととして捉え、その解決に向けた物の見方や考え方を学びます。
・授業では、各テーマに対して自分の考えをまとめたり、考えたことを議論する力を養います。
・諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けます。
・板書を書き写すだけではなく、「なぜそうなのか？」という疑問をもって、社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に解決する態度を養います。

２　学習の到達目標

・現代社会の諸課題に対する基礎・基本的な知識を身につけ、判断力の基礎を身に付ける。
・身につけた知識をもとに、現代社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察し、判断する力や議論する力を養成する。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。
・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度や、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な知識を確実に習得し、現代社会におけるさまざまな場面で活用できる考察・選択・判断するための概念や理論について理解する。 ・諸資料からさまざまな情報を収集する力、情報を読み取れている力、情報をまとめる力を身につける。	・現代社会の諸課題は、さまざまな社会的事象が相互に関連し合っていることに留意し、事実をもとに概念などを活用しながら多面的・多角的に考察したり、構想したりする。また、その過程や結果を適切に表現している。	・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学習しようとする態度を育む。 ・現代社会の諸課題に対する関心と課題意識をもって、主体的に解決しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共的な空間における基本原理と日本国憲法	・人間の尊厳と平等 ・民主政治と国民主権 ・積極的自由と公共の福祉 ・積極的自由と義務 ・新しい人権 ・法の支配と人権保障 ・平和主義 ・日本国憲法と3つの原理 ・憲法改正の意味	a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由や権利についての基本的な原理を理解する。 b:人間の尊厳と平等、自由や権利について、現代の民主政治のもとで個人と社会との関わりを意識しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自らも現代社会の一員として、諸課題に対する関心と課題意識をもって、意欲的に学習活動に取組んでいる。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ
	日本の政治機構と政治参加	・法の機能と限界 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・私たちと裁判 ・選挙のしくみと課題 ・国民と政治参加	a:法の規範や意義について理解し、国会・内閣の機能と役割や関係性について理解する。 また、裁判所の機能と役割、人権を保障する仕組みとその課題について理解する。 b:社会の形成者として政治・司法に参加する意義や課題を考え、構想したことを議論している。 c:現代の政治や司法に対して、自立した主体として意欲的に関わろうとする態度を持っている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・体験活動
後期	経済の仕組み	・経済活動と私たちの生活 ・経済学の考え方 ・市場の仕組み ・市場の失敗 ・現代の企業	a:経済活動において選択・判断するための概念や理論を理解する。また、市場経済や現代の企業のあり方について理解する。 b:経済活動に関する各テーマに対して、さまざまな視点を用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:経済や市場、企業について関心をもち、自らも市場経済と密接に関りをもっているという態度のもと、意欲的に学習活動に参加している。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	変化する日本経済	・公害の防止と環境保全 ・エネルギーと循環型社会	a: 環境問題の原因やその影響、再生可能エネルギー利用について必要な知識を身に付ける。 b: 持続可能な社会の実現をめざした各国の取組や各個人の取組ついて考察し、自らの考えを表現できる。 c: 環境問題が抱える地球的課題や、人類への影響について関心を持つと共に、地球社会の一員としての自覚をもちながら意欲的に学習活動の参加している。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ
	豊かな生活の実現	・私たちの生活と契約 ・消費者主権 ・消費者問題 ・労働者の権利 ・現代の雇用・労働問題 ・社会保障の役割 ・社会保障制度の課題	a:多様な契約及び消費者の権利と責任などに関する課題について理解する。また、職業選択、雇用・労働問題、社会保障の充実・安定化などに関わる現代社会の課題について理解する。 b:消費生活、労働問題、社会保障に関する現代社会の諸課題について、事実をもとに多面的・多角的に考察し、構想したことを議論している。 c:消費生活、労働問題、社会保障に関する諸課題から、よりよい社会の実現を視野に、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚を深めている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・体験活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度